



Wilhelm・Conrad・Röntgen
ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン
1895年 X線発見

放射線だより

2025年11月
担当：鈴木優太

from Radiation House

トモシンセシスガイド下マンモトームとは

吸引式乳房組織針生検

（マンモトーム生検）とは
悪性を疑う（C3以上）の石灰化
に対して行います。
局所麻酔下で行われ小さな傷
（約4mm）1つだけで縫合不要
な生検です。

装置が新しくなりました

以前当院で使用していた『腹臥位ステレオガイド下マンモトーム生検装置』は左右15°のステレオ撮影を用いて対象の石灰化の位置を決め組織採取を行っていました。

しかし今年の8月から新マンモグラフィ装置で側臥位または座位にて撮影（トモシンセシス）した画像を確認しながら組織採取を行います。

トモシンセシス撮影により淡く微小な石灰化でも位置決めがしやすく短時間検査に繋がり患者さんの負担軽減になっています。



マンモトーム装置
GE社製Senographe Pristina

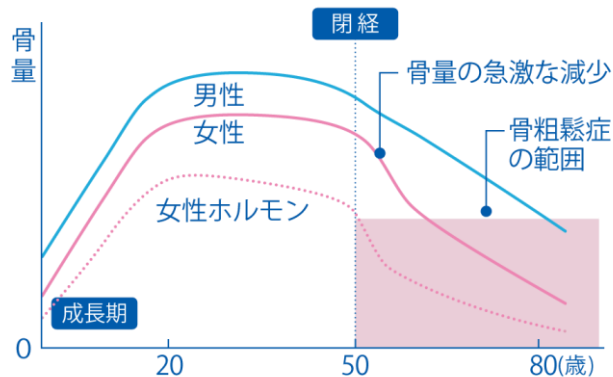


吸引機
EnCor ENSPIRE™

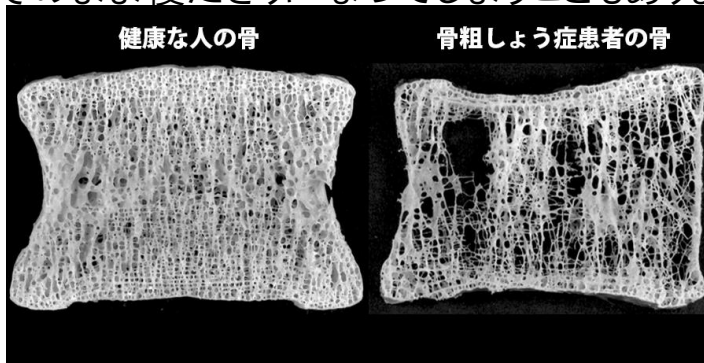
骨密度検査受けてみませんか？

骨は小児から成人になる成長期に丈夫になり、骨量も増大して20代でピークを迎え、その後は加齢とともに減少していきます。特に女性は閉経後顕著に現れます。

年齢と閉経に伴う骨量の変化



骨量の減少は骨密度を低下させてしまい、骨折のリスクが大きくなります。骨折した場合、治るのに時間がかかる上、最悪の場合はそのまま寝たきりになってしまうこともあります。



当院ではDXA(デキサ)法を採用し他の測定法と比較して精度の高い検査です。腰椎と大腿骨で主に測定を行い、検査時間は約15分です。検査を受けてみたいと思ったら整形外科にお問い合わせください。

2025年も終わりが近づいてきて、気温もどんどん下がってきました。冬は転倒のシーズンです。骨密度は運動習慣や食事習慣の見直しで改善されることが確認されていますが、上記の通り年齢と共に骨密度は低下してしまうことは間違いありません。一度自分の現在の状態を確認してみてもいいでしょうか？